☆★矢野目小学校教育目標★☆互いを大切にし、笑顔で協働する子ども★☆★自ら学び、深く考えて行動する子ども☆★心と体を鍛え、命を大切にする子ども

令和6年度矢野目小学校　学校だより

みんなの広場２

笑顔が あふれ、明日もまた 来たくなる 学校

2024.5.17　発行　　No.20　　文責　　目 黒　満

今週の後半は、胃腸炎等は減少しましたが、運動会の練習が本格的に始まったので、疲れが出てきた児童がいます。
来週の週末は、いよいよ運動会です。この週末は、お子さんの健康状態・疲労状態を確認いただき、運動会練習・当日にベストな体調で臨めるようご指導をお願いします。

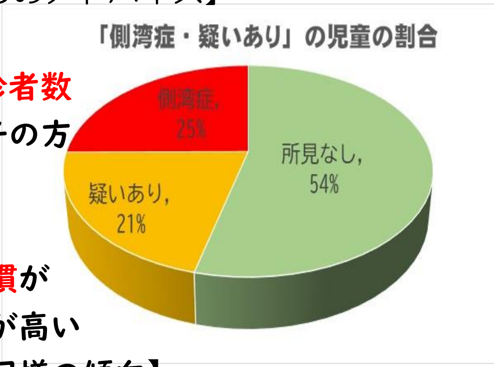
家庭と学校ががっちり手を繋ぐ２年目

内科検診結果速報　大人の体になる前の対応が大切です！

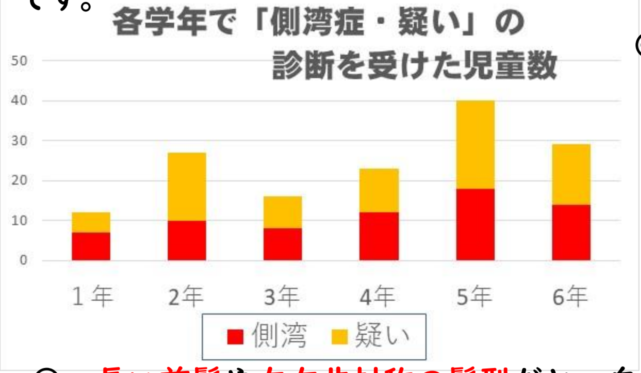
５月９日・14 日の二日間で全学年の内科検診を実施しました。学校医の市川先生が、子どもたちの内科的な健康状態、肥満や痩せの状況、側湾症や体の状態等について、一人ひとりを医学的な視点から検査していただきました。その結果をお知らせします。

人生１００年時代といわれる現在、子どもたちがこれからの９０年を健康で元気に、前向きに生活していくためにも、体が成長する今、柔軟な今こそ、将来の健康と笑顔に繋がる健康な体づくりを実践していくことが大切だと考えます。【◎は市川先生からのアドバイス】

1　側湾症の可能性・疑いがある児童が多数いました



最も所見が多く記されたのが「側湾症またはその疑い」でした。受診者数全体の46％（R5年度は51％）がその対象となりました。男子より女子の方が多くなっています。学年の分布は下のグラフのとおりです。



◎　コロナ禍の生活習慣が影響している可能性が高い
【東日本大震災後も同様の傾向】

- **メディア時間の増加や日常的な姿勢の悪化**
  →　背骨の歪み
- **外遊び・運動量が減少　→　筋肉が育たない**
  →　体のバランスの悪化（→肥満も）

◎　長い前髪や左右非対称の髪型だと、自然と左右どちらかに首を傾け、姿勢が悪化する

※　前髪が常に目にかかっていると視力に影響したり、髪に付いたウイルスや雑菌が目に入ったりすることもあります。適切な長さに切る、結ぶ、留める等の対応で健康を守りましょう

◎　６年生は今、そしてこれからがまさに成長期。中学校入学前に整形外科への受診を

2　体の柔軟性が不足している児童は減少しました

「しゃがみこみ検査」（立ち姿勢からそのまま足裏を床に付けたまましゃがみこみアキレス腱の柔軟性等を調べる）では全員が合格しました。昨年度から改善が図られました。

◎　引き続き、アキレス腱の柔軟･ストレッチとしゃがみこみ練習を毎日しましょう

学校での検診は、あくまで視触診ですので病気が確定したわけではありません。「その病気の疑いがある・その前兆が見られる・このままだと将来的に病気になる可能性がある」ということです。その可能性や状況が悪化せず、改善すれば問題なしですが、万が一悪化したりすると、一生の問題となり、後から後悔することにもなります。

側湾症などの疾病は、成長期のしなやかで柔軟な体のうちがチャンスです。来週 20 日（月）に、今回の内科検診で何らかの所見があるお子さんには「結果通知」を配付します。お子さんが、結果通知を持って帰ってきた場合には、その内容をご確認いただき、ぜひ専門医の受診をしていただき、専門医のアドバイスに沿った生活改善・治療・対応等をお願いします。